

令和7年秋季特別展

# 民俗文化財を 被災資料と <紙の仏> 後世に

2025.10.25 土 > 11.16 日

世界遺産元興寺

法輪館2階展示室

開館時間 = 9:00~17:00(入館は16:30まで)

観覧料 = 元興寺入山料に含む【大人800円 中高生600円 小学生400円】

主催 = 世界遺産元興寺／公益財団法人元興寺文化財研究所

展覧会に関する情報は元興寺および元興寺文化財研究所の各種SNSをご覧ください。

世界遺産元興寺

〒630-8392 奈良市中院町11  
<https://gangoji-tera.or.jp/>



〈交通案内〉

- ◎近鉄奈良駅から徒歩約15分/タクシー約5分
- ◎JR奈良駅から徒歩約20分/タクシー約5分
- ◎奈良交通バス  
市内循環(黄色いバス)「田中町」下車徒歩約8分  
天理駅・下山・窪之庄行「福智院町」下車徒歩約5分



元興寺文化財研究所では1974年に民俗文化財の修復を開始し、以来、半世紀にわたって国宝・重要文化財を含む美術工芸品・石造品など、多種多様な伝世資料の修復を行ってきました。

本展ではその長年の歩みのなかから、被災資料と「紙の仏」の2つのテーマを通してその技術と実績を振り返り、民俗文化財を未来に伝えることの意味を考えます。

背景：女乗物（人吉城歴史館蔵）修復作業



## 〈紙の仏〉

元興寺所蔵の紙製地蔵菩薩立像（おかみさん地蔵）の修復で、紙製仏像の構造や制作に関する多くの知見が得られたことから、これまで注目されてこなかった紙製仏像そのものの再評価を行っています。本展では修復から調査・研究へと展開した例として、紙製仏像をとりあげ、その特質と、仏像の歴史のなかでの位置付けを探ります。

### ■主要展示資料■

- 紙製地蔵菩薩立像・同像内納入品 奈良県奈良市 元興寺所蔵  
紙製阿弥陀如来立像 愛媛県砥部町 圓誓寺所蔵 ▶4  
紙製阿弥陀如來坐像 奈良県橿原市 妙法寺所蔵  
紙製勢至菩薩立像 香川県善通寺市 甲山寺所蔵  
紙製地蔵菩薩立像 奈良県桜井市 聖林寺所蔵  
紙製南無仏太子像 三重県鈴鹿市 本照寺所蔵  
紙製法然上人坐像 京都府京都市 清淨華院所蔵  
紙製法然上人坐像 大阪府阪南市 個人蔵（潮音寺寄託） ▶5

# 民俗文化財を後世に

令和7年秋季特別展



1

## 被災資料

この半世紀には阪神淡路大震災、東日本大震災など多くの大規模災害がありました。被災した文化財をいかに残すかということは社会全体の大きな課題です。研究所で修復した文化財の展示を通して、被災の実態や、修復方法の実例を紹介します。

### ■主要展示資料■

- 絵馬 兵庫県西宮市 西宮神社所蔵 ▶1  
漁撈用具 ハムドウ 岩手県 陸前高田市立博物館所蔵 ▶2  
荷鞍 岩手県 岩沼市所蔵 ▶3  
ブリキ玩具 岩手県 陸前高田市立博物館所蔵  
製糖用具 香川県高松市 四国村民家博物館所蔵  
西林寺旧日本尊阿弥陀如來像焼損首柄  
神奈川県横浜市 西林寺所蔵（横浜市立博物館寄託）



2

### 関連企画

### ◆いずれも申込み不要◆

#### 記念講演会 2025年11月9日(日)

- ◎民俗文化財保存修理の黎明期（仮）  
◎有形文化財・民俗文化財の保存修理（仮）  
◎文献・伝承からみた「紙の仏」  
◎修理から研究へ—紙製仏像ことはじめ—

- 伊達仁美 京都芸術大学名誉教授  
雨森久晃 元興寺文化財研究所  
服部光真 元興寺文化財研究所  
植村拓哉 元興寺文化財研究所

会場：元興寺 国宝 禅室  
定員：100名

時間：13:00～16:30（開場12:45）  
参加費：無料※別途、元興寺入山料が必要

#### 展示解説 2025年10月26日(日)／11月3日(月・祝)／11月15日(土)

- 会場：元興寺 法輪館2階展示室  
講師：元興寺文化財研究所研究員  
時間：14:00（30分程度）  
参加費：無料※別途、元興寺入山料が必要